

## 活動記録書

開催日： 令和6年9月5日(木) 天候 晴	開催テーマ： 「品川歴史館」学芸員による解説と見学
開催場所：東京・品川区	記入者：金久保常二
参加人数：会 員 29 名 ビジター 0 名 計 29 名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：京急立会川駅(集合)～品川歴史館(解説・見学)(解散)～JR 大森駅 今回は集合場所での受付時の配布資料はなし。A 班 B 班の 2 組に分かれて移動する。「品川歴史館」パンフレットを到着時に配布された。</p> <p>品川区立品川歴史館は令和6(2024)年4月21日にリニューアルオープンされた。品川区の貴重な文化と歴史にかかわる資料の収集、保存と公開を行っている。また、地域史をはじめ歴史を幅広く学ぶ歴史の学習の場として機能を備えている。茶室や書院、庭園も備えており書院や茶室は茶道、華道の場としても利用できる。現在、募集中の講座、開催中の展示については品川歴史館のホームページをご覧ください。厳しい暑さを考慮し初めての屋内探訪として、リニューアルオープンしたばかりの品川区にある貴重な歴史資料や展示物が集められている品川歴史館を訪れた。</p> <p>まず講演は品川歴史館の学芸員の富川氏に品川歴史館をすみずみまで説明してもらおう。富川氏はリニューアル計画から深く関わってきたそうです。学芸員の目線からのこだわりを伺い知る事が出来た。ちなみに看板をはじめ、施設のあちこちに見られる山型のアイコンは品川歴史館の新しいロゴマークだそうである。歴史館の三角屋根をイメージした山型と組み合わせて、品川の「品」を表している。</p> <p>当初は A 班 17 名、B 班 12 名に分かれて移動する予定を、他の入館者がいなかったため学芸員の提案で全員統一行動にした。</p> <p>「まずは 2 階からどうぞ」と通されたのは、展望デッキへ。常設展示室を上から一望できる場所となっている。ここでは展示室上部に設置されている巨大スクリーンに注目が集まる。13 分間で品川の歴史を振り返る。大迫力の映像「品川の歴史絵巻」を上映する。縄文時代から現代まで 15 の印象的シーン。それぞれの時代の子どもの視点から描かれている。いろいろと想像して貰うため映像にセリフや文字は入っていない。</p> <p>次は大型模型やタッチパネルで品川の歴史を知ろうと 1 階常設展示室を回る。展示室を一周すれば原始古代から近現代まで時代に沿って品川の歴史を学ぶことができる。各時代のトピックを模型や映像で分かりやすく見せる「ライブステージ」と解説パネルとともに歴史資料が並ぶ「ライブウォール」の 2 構成。見ごたえのある展示を実現している。</p> <p>2 階には大森貝塚を発見し調査したモースの紹介コーナーを併設する図書資料室がある。</p> <p>最後に、ライブラボから見えていた美しい庭園に向かう。開館時はいつでも立ち寄ることが可能である。庭園にあるのが「松滴庵」昭和 2～3 年ごろに建てられた茶室である。普段は茶室内に立ち入りできないので、今回は茶室の周囲を見せて貰った。柱一つとっても様々な木材が使われていて、松滴庵を建てた安田善助のこだわりを感じることができる。</p>	
<b>参加者の状況・意見など</b> 品川歴史館を見学して感じたのは、「品川の歴史を知れば、日本の歴史も見えてくる」。縄文時代の「大森貝塚」に始まり、東海道の宿場「品川宿」として全国に知られるようになった品川には、「品川御台場」や「初めて鉄道が開通した品川駅（停車場）」といった歴史上のキーポイントがたくさんあることでした。	
<b>次回の予定：</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・令和6年10月3日(木)10時 JR北鎌倉駅東口集合</li><li>・テーマ：円覚寺・東慶寺を巡る</li></ul>	